



やまぼうし



こども園HP

社会福祉法人 市島福社会
認定こども園 いちじまこども園

〒669-4321
兵庫県丹波市市島町上垣138-1
(☎) 0795-85-2330
(fax) 0795-85-2335
<http://www.ichijima-kodomoen.com>



<教育・保育理念>
受容・信頼・貢献感

いきよう
ちからいっぽい
じぶんらしく
まっすぐに



片付けはめんどくさいけれど：



「片付け」は、生きるために必要な力の基礎を育成するための重要な役目を果たしています。物を使つた後は、それを所定の位置に戻す、みんなで一緒にまわりを整頓する等ができると自分やみんなが気持ちよく暮らせます。このことは共同生活の規律や時間を守ることに繋がり、やがて円滑な社会生活をおくる礎となっています。

日常の中で「片付け」を繰り返すうちに、物をどこどのように置いたら、取り出しやすく戻しやすいか、不要なものはどう処理したらよいか等を考えることになり、工夫する力や決断する力がついていきます。そのうえ「片付け」は、社会性とともに自分で決めたことを実行する力（自分との約束を守る力を養い、人としてしっかりと生きるための基本の力が自然と培われていく大切な行為です。

しかし、片付けさせることを強制しては、逆効果となり、人間関係に悪影響を及ぼしかねません。

園では、片づけの歌を歌つたり、収納する入れ物を飾つたりして楽しい雰囲気を作り、意欲を高め、片づけられた時には、その喜びを共感するなど達成感を味わえるように工夫しています。また外から帰った時、脱いだ靴を揃えるのも片付けの一歩としてすすめています。靴を揃えるその一歩二三秒ほどで気分が変わり、瞬時のクールダウンとなります。一息つきながら靴を並べることで、心の整理をする力に繋がっていくと考え、特に力を入れて取り組んでいるところです。

「片付け」がよいイメージででき、それがごく自然なこととして身につければストレスになりにくく生活に潤いができます。しつかり習慣化させるには幼稚期の今が一番効果的です。



靴をキレイに揃えているよ！



子ども達が自分で片付けができるように、おもちゃの種類によってカゴを分けたり写真を貼ったりしています。

始める前には面倒くさがつきまといますが、終わった時には、すっきり爽やかいい気分。日常の中で達成感が味わえて、自信にもつながるという超スグレモノの「片付け」なのです。

ご家庭でも是非、時間をとり気持ちにゆとりを持って、親子と一緒に「片付けを楽しむ」工夫をしていただければと思います。それが大事な触れ合いになります。子どもも嬉しい気持ちで片付けられます。

子どもの姿

片付けたい気持ちがいっぱいなかなか片付け始められない子ども達…。そんな中一生懸命に片付けているお友達を保育者が『お片付けがんばりマン！！』とみんなの前で紹介し拍手をすると…「ぼくも！」「わたしも！」とやっていなかったお友達もみんなでアピールする姿がありました。



二

児童憲章 二二三

三

すべての児童は、家庭で、正しい愛情と知識と技術をもつて育てられ、家庭に恵まれない児童には、これにかわる環境が与えられる。

すべての児童は、適当な栄養と住居と被服が与えられ、また、疾病と災害からまもられる。

*児童憲章はすべての児童の幸福のため
一九五一年五月五日に制定されました。